



伊豆市

No.31

議会だより

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集特別委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2012.2.1発行



「十二支扇面散」(辰部分) 広瀬長江 明治末 伊豆市所蔵

本図は、修善寺にゆかりのある5人の画家がそれぞれ十二支にちなんだ画題を扇面型に描いた「十二支扇面散」(屏風)の辰の部分です。元禄の頃に市村座で槍踊りを舞って好評を博した名優水木辰之助をモチーフとして広瀬長江が描いています。市が所蔵する近代日本画は、修善寺郷土資料館にて年間を通した鑑賞ができるよう月替りで展示されており、本作品は本年3月に展示される予定です。

新春のごあいさつ



伊豆市議会議長

杉山 羌央

市民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、3月11日に東日本を襲った巨大地震と巨大津波、そして、原発による事故のため、日本中が未曾有の大災害を被り、千年に一度とも言われる苦難の一年となりました。

また、我が伊豆市も、乾しいたけの放射性物質問題に翻弄された年でした。

そして、「絆」という言葉が、すべての人々に感動と勇気を与えてくれた年でもありました。

今年は、復興というに相応しい活力と、皆さまに笑顔があふれる一年になりますようご祈念申し上げます。

平成23年 12月定例会

平成23年12月定例会を、11月29日から12月16日まで18日間の会期で開催しました。補正予算9件、条例関係3件、その他2件、人事案件1件を原案のとおり可決・同意し、議員発議による意見書2件を採択しました。

なお、「天城湯ヶ島地区の小学校再編に関する請願書」は、不採択となりました。

一般会計は、台風に伴う災害復旧費など、 4億2,780万円を増額補正し、 総額が159億7,540万円になりました。

補正予算

◆一般会計(第4回)

職員給与等の改定や退職手当組合特別負担金の増額など、人件費の補正のほか、市内公的病院等への支援や、出荷自粛などにより回収された乾シイタケを、一時保管するための倉庫の改修、乾シイタケの風評被害に対するブランド復活PR委託業務などの内容。



▲台風による崩落(土肥地区林道上池線)

◆国民健康保険特別会計(第2回)

人件費の補正のほか、一人当たりの医療費や被保険者数の増加など、退職被保険者等の療養給付費の増額や、前年度の国庫負担金等の返還金など、1億2410万円を増額するもの。

◆介護保険特別会計(第3回)

利用者が増加したことによる各介護サービス給付費など、保険給付費3337万円を増額するもの。

◆簡易水道事業特別会計(第3回)

人件費の補正と、地方債償還額の確定による償還利子など57万円を増額するもの。

◆下水道事業特別会計(第3回)

国庫補助金の追加に伴う事業費の増額など、1590万円を増額するもの。

◆農業集落排水事業特別会計(第3回)

人件費の補正として33万1千円を増額するもの。



▲湯の国会館(天城湯ヶ島地区青羽根)

◆湯の国会館事業特別会計(第3回)

利用者の減少が見込まれるため、入館料等収入を減額し、一般会計繰入金を増額、修繕料等の減額など、614万円を減額するもの。

◆上水道事業会計(第3回)

人件費の補正として、収益的支出では99万4千円、資本的支出では7万7千円を増額するもの。

◆温泉事業特別会計(第1回)

山の神源泉ポンプ入れ替えについて、収益的収支では資産減耗費の増額等226万1千円を、資本的支出では工事費800万円を、それぞれ増額するもの。

条例関係

◆伊豆市職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院及び県の人事委員会からの勧告に準じた改正をすることになつてゐるため、伊豆市職員の給与に関する条例等を改正するもの。

◆伊豆市税条例等の一部改正

地方税法の一部改正によるもの。

◆伊豆市立学校設置条例の一部改正

天城湯ヶ島地区の湯ヶ島・月ヶ瀬・狩野の3小学校を1校に再編。校地は、現在の狩野小学校とし、平成25年4月に開校。校名を「天城小学校」とするもの。



▲狩野小学校（天城湯ヶ島地区青羽根）

その他

◆駿豆学園管理組合規約の一部変更

障害者自立支援法の一部が改正されることに伴い、管理組合規約の一部を変更するもの。

◆修善寺駅西広場及び鉄道関連工事委託に関する協定の締結

修善寺駅西広場及び鉄道関連工事委託について、伊豆箱根鉄道㈱と仮協定を締結したため、地方自治法の規定により、議会の議決を得るもの。

契約金額は、消費税を含め9億3746万2500円。

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、朝倉啓二氏（原保）、瓜島昌子氏（下白岩）、山居英明氏（湯ヶ島）が候補者になることに同意しました。

任期は、平成24年4月1日から3年間。

意見書

「鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書」（要旨）

鳥獣による被害防止を確実なものとするため、支援強化を求めらる。

一、地方自治体が行う被害防止施策に対する財政支援を充実すること。

一、現場では有害鳥獣対策についての専門家が不足していることから、専門的な知識や経験に立脚した人材の育成及び支援策を講じること。

一、有害鳥獣の正確な生息数の把握ができる調査方法を確認すること。

一、効果的な野生鳥獣被害防止対策を構築すること。

【提出先】 内閣総理大臣、環境大臣

農林水産大臣、総務大臣

「国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書」（要旨）

今年度限りで終了する多くの基金事業のうち、次のものについて、基金および基金事業を継続するよう求める。

一、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金

一、安心子ども基金および妊婦健康診査支援基金

一、介護職員処遇改善等臨時特例基金

一、障害者自立支援対策臨時特例基金

一、地域自殺者対策緊急強化基金

【提出先】 内閣総理大臣

文部科学大臣

厚生労働大臣

内閣府特命担当大臣

12月定例会の賛否

件名	議決結果	鈴木初司	梅原泰嗣	稲葉紀男	森島吉文	松本 覺	西島信也	杉山 誠	内田勝行	関 邦夫	大川 孝	森 良雄	古見梅子	塩谷尚司	室野英子	飯田正志	鍵山堅一	飯田宣夫	三須重治	木村建一	
補正予算																					
23年度伊豆市一般会計補正予算(第4回)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
23年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市簡易水道事業特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市湯の国会館事業特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市上水道事業会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度伊豆市温泉事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例関係																					
伊豆市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市立学校設置条例の一部改正について	可決	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
その他																					
駿豆学園管理組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
修善寺駅西広場及び鉄道関連工事委託に関する協定の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・意見書																					
天城湯ヶ島地区の小学校再編に関する請願書	不採択	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長(杉山晃央)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わらない。

第3回臨時会

10月28日、平成23年第3回臨時会が開催され、補正予算1件、議員発議による意見書2件を原案のとおり可決しました。

補正予算

◆一般会計(第3回)

乾しいたけ検査手数料等170万円と、台風15号による各種災害復旧事業費として4940万円、合計5110万円を増額するもの。

乾しいたけの検査は、生産者ごとを予定し、出荷自粛の解除に向け、生産者団体やJ A伊豆の国と協議しながら対応するもの。

また、災害の本格復旧については、災害査定後となるが、当面の測量設計や一部復旧経費など、予備費での対応ができなくなり、緊急対応するもの。

意見書

「乾しいたけに係る放射性物質問題への特別支援を求める意見書」 (要旨)

10月8日、静岡県の分析により市内で生産された乾しいたけから暫定規制値を超える放射性セシウムが検出され、3月11日以降に収穫・加工された乾しいたけについて、出荷の自粛と自主回収の要請があった。市内では零細な生産者が多く、甚大な被害を受けていることから、速やかな対策を求める。

一、安全確認と安全宣言について。

一、安全な乾しいたけの出荷と風評被害対策について。

一、原木の安全確保への支援について。

一、放射能対策専門家の派遣と調査について。

【提出先】 静岡県知事

「乾しいたけの放射性物質に係る暫定規制値の見直しを求める意見書」 (要旨)

現在、乾しいたけについての放射性セシウムに関する指標は、食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値において、野菜類と同じ1キログラム当たり500ベクレルが適用され、調理実態に沿わない規制値となっている。したがって、乾しいたけについては、通常の調理方法である水で戻し、実際に食される状態のものを検査対象とするよう、規制値の見直しをすること。

【提出先】

内閣総理大臣、農林水産大臣
厚生労働大臣、環境大臣・原発事故の収束及び再発防止担当内閣府特命担当大臣

10月臨時会の賛否

件名	議決結果	鈴木初司	梅原泰嗣	稲葉紀男	森島吉文	松本 覺	西島信也	杉山 誠	内田勝行	関 邦夫	大川 孝	森 良雄	古見梅子	塩谷尚司	室野英子	飯田正志	鍵山堅一	飯田宣夫	三須重治	木村建一	
23年度伊豆市一般会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乾しいたけに係る放射性物質問題への特別支援を求める意見書	採択	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乾しいたけの放射性物質に係る暫定規制値の見直しを求める意見書	採択	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長(杉山亮央)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わらない。

議案 チェック

12月の定例会の議案審査で、次のような質疑がありました

総務教育委員会

◆一般会計補正予算(第4回)

問 退職手当特別負担金は、勧奨退職がなければ不要である。職員削減目標が達成されているのであれば、やめさせなくてもいいのではないか。

答 人数が同じであっても、年齢構成が適当かどうかは別問題として残っています。

現在50代の職員が多い構成なので、なるべくスリムな形、体制にもっていくまでの一つのあり方としては、今の制度はやむを得ないのではないかと考えています。

外部の仕組みも取り入れながら、全体の住民サービスや質を落とさない工夫を検討していきます。

◆天城湯ヶ島地区の小学校再編に関する請願書

問 狩野小学校西北側は、「県が指定した急傾斜地崩壊危険区域である」となっているが、該当していないことが判明している。また、請願書にふさわしくない文言が入っていることをどう思うか。

答 (紹介議員) 請願書が提出された時点での請願者の判断であり、私が訂正するわけにもいきません。文言は、思いの強さを表現したものと受け止めました。

問 請願者は過年度の湯ヶ島小学校PTA会長となっているが、役員代表として提出したのか。

答 (紹介議員) PTAの皆さんに確認をしたのかについては、確認していません。

福祉環境委員会

◆一般会計補正予算(第4回)

問 火葬場修繕工事は、どのような内容か。

答 台風15号による伊豆聖苑入口の崩土処理と、入口看板の設置を

予定しています。
看板は、聖苑の入口が分かりにくいとのこと意見により、区の詳細のもと設置するものです。



▲伊豆聖苑入口(修善寺地区日向)

問 病児病後児保育事業の内容は。

答 病児保育とは、病気の回復に至らない児童を預かる事業です。日赤病院に隣接するアパートを借用し、24年4月から実施する予定で、施設の修繕など、事業開始のための準備を行います。

受け入れ児童数は6人までとし、保育士が2人常駐しますが、利用者には先に日赤病院で受診してもらい、必要に応じて看護師が見回る体制をとります。

なお、4月に開園する認定こども園あゆのさと(柏久保)では、

病気の回復期にあり集団生活ができない児童を預かる病後児保育事業を予定しています。

問 津波避難タワー設計委託料について、どのようなタワーになるのか。

答 土肥こども園の敷地内に、一時避難所として150人を収容できる広さのものを予定しています。

津波がおさまれば土肥中学校に避難することになりますので、備品等を置く予定はありません。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

問 保険給付費の増額補正について、医療費の状況はどうか。

答 療養給付費と高額療養費の増額補正の要因の一つは、退職者被保険者の増加があります。

23年8月時点で、前年度よりも72人増えており、それに伴い高額療養費も伸びています。



◆介護保険特別会計補正予算 (第3回)

問 高額医療合算介護サービス費を増額補正する理由は。

答 最近できた制度で、高額医療費と合算した補助費用ですが、昨年度は申請件数が少なかったため、該当すると思われる方に広報した結果、申請件数が増えました。

年度末まで数ヶ月ありますので、補正をお願いするものです。

◆伊豆市税条例等の一部改正

問 たばこ税の不申告者となるが、どのような者が対象か。

答 日本たばこ産業株式会社関連の卸売業3社で、たばこを取りまとめている業者です。

一般の小売業者は対象ではありません。

経済建設委員会

◆一般会計補正予算(第4回)

問 農業生産強化施設整備事業費補助金の内容と対象は。

答 今回対象となったのは、台風の影響で迂回が必要となった、天城湯ヶ島山葵組合所有のモノレール

の整備です。

この補助制度は、2人以上の者が対象で、ワサビ以外の農産物として、シイタケ栽培も対象になります。

問 農地災害復旧工事では、個人負担はどのくらいの割合か。

答 台風6号と15号による農地復旧工事は14箇所、今回の個人負担は、1割となります。



▲台風による田の崩落(中伊豆地区菅引)

問 道路橋梁災害復旧事業に分筆登記委託料がある理由は。

答 市道の災害復旧工事6箇所のうち、中伊豆の戸倉野地区の復旧工事に、河川と道路の間にある民有地が必要となり、買い上げるためです。

◆下水道事業特別会計補正予算 (第3回)

問 市単独工事は、どこで何をするものか。

答 現在、県が農道の工事を行っている中伊豆の西地区にある西橋において、下水道管が橋の橋梁部分の支障となるため、移設するものです。



▲西橋新設工事(中伊豆地区下白岩)

◆湯の国会館事業特別会計補正予算(第3回)

問 レストランと売店の収入を減額補正する理由は。

答 今年度の入館者数は、当初予算時よりも1万2千人は少なくなるが見込まれますが、どちらの収入も入館者数に比例しているため、減額するものです。

◆修善寺駅西広場及び鉄道関連工事委託に関する協定の締結

問 事業費の負担割合はどのようになっているか。

答 伊豆箱根鉄道の負担分を合わせた11億円のうち、約9億3700万円が市の負担ですが、4割が社会資本整備総合交付金で、残りの6割のうち95%が合併特例債の対象となりますので、残りの5%、全体では3%が市の直接負担分となります。

なお、合併特例債の交付税措置の対象は75%ですので、事業費全体では4割が交付金、4割が合併特例債、2割が市の負担となります。

問 伊豆箱根鉄道が設計から積算まで行うことによる適正か否かのチェックは、どのようにするか。

答 鉄道固有のものが多く、市のみの審査が難しいので、鉄道設計に精通している県内の専門コンサルタントに審査を委託し、その後、市で最終的な審査を行います。

市政を問う

～一般質問～



12月定例会での一般質問は、12月1日、2日の2日間、11名の議員が32件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

狩野小学校西側入り洞 危険渓流について

(鈴木初司議員)

前回の質問で、砂防工事の規模、用地交渉、測量設計、工事完成までの期間、着工時期、完成発注者、要する費用については、国土交通省と調整中であり、国に働きかけているとの答弁でありましたが、間違いではないですね。

時期、期間という答弁はありませんでした。国土交通省との調整の進捗状況を伺います。

市長 答

現在、砂防工事の設計測量に取り組んでいます

国交省との関係ですが、9月より11月にかけて沼津河川国道事務所長、中部地方整備局河川部長、国土交通省水管理・国土保全局長等に状況を説明し、狩野小学校西側の砂防ダム建設について、速やかな着工をお願いして来ました。

すでに10月より地元地区へ測量の立ち入りをお知らせするとともに、設計・測量を行っています。

また、着工時期は未定ですが、工事期間については着工後1年半程度を見込んでいます。

質問

タウンミーティングの 継続について

(内田勝行議員)

タウンミーティングの意義は、市長自ら住民の暮らしの足元に向くことにあると思います。市民にとって、市長との唯一の接点の場とも言えます。行政と市民相互が価値観を共有するために、継続すべきだと思います。

質問します。①規模(会場数)を縮小して、毎年実施してはどうか。②女性のみを対象としてはどうか。

市長 答

タウンミーティングの方法を工夫し継続する

今年は、その時期に東北大震災の対応で実施できませんでしたが、地域の要望、テーマがある場合には出向きました。

また、タウンミーティングでは発言しづらい女性の立場を考慮し、幼稚園、保育園等の女性保護者を対象にご意見を伺っています。

このように市民の皆様からご意見を伺う方法を工夫し、今後もタウンミーティングは続けたいと考えています。

質問

子ども医療費助成の 拡充を

(杉山 誠議員)

県は、子育て世帯から要望の多い子ども医療費の助成について、通院医療費の助成対象を中学三年生まで拡充する方針です。

伊豆市では、通院医療費の助成は小学六年生までですが、安心して子育てできる環境づくりの一環として、さらなる拡充を望む声が多くあります。県の方針を受けて、当市でも拡充が求められますがいかがでしょうか。

市長
市答

医療費助成は中学3年 生まで引き上げます

子ども医療費ですが、伊豆市においては県よりも先駆け、平成24年4月から通院対象年齢を中学校3年生まで引き上げる方向で、現在役所内の準備を進めています。

平成24年度の当初予算に計上させていただきたいと思しますので、議会のご理解をいただきたいと思います。

質問

小学校再編成で、児童の通 学の負担をどう考える？

(木村建一議員)

天城地区学校再編成準備委員会で多くの人が重視したのは「一部の児童に通学の負担が偏らないようにする」ことでした。

教育委員長は、9月議会で、「現在もバス通学する児童は負担にならない」と答弁されました。持越地区、今後バス通学が考えられる長野地区から通学する児童は負担にならないという考えですか。

委員長
教育答

持越、長野地区の児童 の負担は増えます

持越地区の児童は、現在も湯ヶ島小学校までバス通学をしていますが、狩野小学校に通学する場合は、現在よりも12分程度長く乗る分は、若干の負担となると思います。

長野地区の児童は、現在徒歩で湯ヶ島小学校に通学していますが、統合された場合は、徒歩とバスを利用した通学になると思います。この場合は、今までバスを利用していない分の負担は増えるというふうに認識しています。

質問

コミュニティFM局と 同報無線について

(梅原泰嗣議員)

地域的な広報・情報の発信源、また同報無線が担っている災害時等の情報伝達として、コミュニティFM局の開局調査が行なわれていますが、コミュニティFM局の開設・運用は規模、番組作成、出資者等、かなりの事業的な要素が考えられ、将来的に経済的効率が懸念されます。市民アンケート結果と今後の実施予定について、お伺い致します。

市長
市答

設備投資や運営を検討 し、計画を示します

コミュニティFMは、3月の東日本大震災においても的確な情報を送り続け、重要な役割を果たしました。災害時は開設許可が迅速に下りるそうです。

8月に実施した市民アンケートの結果でも、3人に1人の方が緊急時の情報を含めて有効との回答をいただきました。

ただ、同報無線と違い、24時間近くラジオを聴いていただくためには、市民に魅力ある情報を提供する必要があります。設備投資や運営のあり方など、導入については検討を重ね、24年度には計画を示します。

質問

廃校跡地の売却等は、中止すべきでないか

(西島信也議員)

菊地市政になってから廃校・廃園にした小学校、保育園計6校を民間企業へ売却等しようとしているが、中止すべきではないか。

これらの施設は、いずれも災害避難場所に指定されており、災害にどう対処するのか。

これらの土地・建物の活用方法は、市民とともに慎重に検討し、あくまでも市民の福祉のために利用すべきではないか。

長井市答 働く場として活用することが市民の利益です

学校や支所跡など、今まで利益を生んでこなかった施設が今もあり、今後もたくさん出てきます。

現在も大卒、高卒の4割が仕事に就けないわけです。国・県・市において今一番求められている国民の福祉は、雇用の確保だと思います。そのために、市の施設を活用することは、第一優先であってしかるべきだと思います。

地域の皆様と一緒に決めますので、公募させていただいて、なるべく働く場となるような活用をすることが、市民の利益と信じます。

質問

狩野小学校の安全性

(森 良雄議員)

狩野小学校はハザードマップに載っている、危険なエリアです。どんな危険がありますか。危険なのですか、安全なのですか。土石流ほどの程度の雨量で発生しますか。到達時間が早くなったり、量が多くなることはありませんか。危険なところに統合するのですか。安全を確保してから、統合を進めるべきではありませんか。

長井部担当 各データから、安全は確保できると考えます

雨量336ミリの時、210立方メートルの土砂が2分で到達すると想定されます。雨量により到達時間は早まりますが、土砂の量は大きく変わらないと考えられます。気象情報を詳細に入手することができますので、余裕を持って予測、避難が可能だと考えています。

長井教育 安心・安全確保のための対策を講じていきたい

警報発令時等、安全・安心の事前対策は確立していますが、ソフト、ハード面でさらなる対策を講じていきます。

質問

市長就任後4年になるが、実績について

(関 邦夫議員)

- ① 過疎問題、少子高齢化で学童激減の現状で学校統合は避けられません。人口問題に解決方法がありますか。
- ② 市が耕作放棄地を公費で管理することに問題はないか。いつまで続けるのか。
- ③ 「土肥港みなどまちづくり」構想は、立ち消えですか。それともいつ完成しますか。
- ④ 伊豆市民は健康で心豊かな生活ができていますか。

長井市答 「種まき」から「育て」の段階に入ります

- ① あらゆる政策を人口減少問題に関連させ対応しています。
- ② 景観や田畑の管理・改善の見方で公益にかなうものと判断し、平成23年度まで行いました。効果は得られたと考えます。
- ③ 東海地震の第4次被害想定が出され、地区の皆様にもちのコンセプトの回答をいただいているから、さらに歩を進めていきます。
- ④ 市民はふるさとに愛着をお持ちなので、雇用、働く場作りに政策を集中していきます。4年間種まきはできましたので、育てる段階に入ると考えます。

質問

新修善寺駅に立体大駐
車場の設置が必要です

(大川 孝議員)

車で電車を利用される方には、駐車場が不可欠です。現在、伊豆箱根線は運転士が一人で乗降操作をしています。始発から乗車する人が増えることは、伊豆箱根鉄道も増収になり、やがてはワンマンカーでなく、車掌も乗務し従来のサービスに繋がると思います。伊豆市民は素より、南伊豆方面、外来の方々のためにも立体駐車場を併設する考えはないか。

長弁
市答

短時間駐車は駅北広場
やロータリーを利用

駅北広場、ロータリー駐車場は、送迎や日帰りなどの短時間の駐車に利用していただき、月ぎめ等の長時間駐車は、駅近傍の民間駐車場を利用いただければと思います。
利用者の立場からは、点在している小規模なものが一元管理されているほうが、使いやすいため、行政による何らかの介入ができれば、その方向が望ましいと考えています。

質問

人口流失及び雇用の創
造施策の成果を問う

(稲葉紀男議員)

年間6000人を超える人口の激減は伊豆市が暮らし難くなっている市民感覚、また企業誘致や一部の私の組合等の支援のために市民全体への福祉やサービスが犠牲になっている不公平さを感じさせていること、また住民合意が不十分な学校の統合、廃校が地域をさらに離れる原因になってはいませんか。また、雇用創造のための産業振興施策の成果・進捗状況はいかがですか。

長弁
市答

働く場所が激減してい
ます

人口減少は、伊豆市が暮らしにくいというより、働く場所が激減していることが、一番の要因ですので、企業誘致の支援策が必要です。小学校の再編成が人口減少の原因であったということは、結びつきません。
雇用については、2年以内に東駿河湾環状道路が完成するのがわかっているため、企業誘致を進め、伊豆市の中でも新たな産業を起こしたり、起業の支援や、経済アドバイザーによる雇用促進、6次産業化も期待しています。

質問

児童虐待防止について

(室野英子議員)

昨年(平成22年)一年間に、5万5千件以上の児童虐待事件が起き、55人が人としての人権を守られずに、短い一生を終えています。
平成16年の児童福祉法改正により、虐待を受けた児童などに対する市町村の体制強化のために、国は「子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)」の設置を進めているが、伊豆市での対応を伺います。

長弁
市答

早期発見と予防強化に
取り組んでいます

平成17年度に東部児童相談所、警察署、社会福祉協議会、教育委員会などの組織で協議会を設置し、さまざまな虐待の早期発見の強化に取り組んでいます。
具体的には、母子手帳の交付時に、アンケート調査などで妊婦や家庭環境の様子を伺い、虐待の恐れがあると判断した場合は、保健師が訪問してその予防に取り組んでいます。
また、新生児訪問や定期健診では、安心して育児ができるよう、精神的な支援も行っています。

常任委員会の行政視察

総務教育委員会

(11月8日～10日)

「阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター」
(兵庫県神戸市)

「京都市の入札と契約」
「小中一貫校 大原学院」
(京都市京都市)

経済建設委員会

(10月31日～11月2日)

「農商工ビジネスマッチング」
(香川県J A)

「地域雇用創造推進事業」
(高知県土佐市)
「高知県の町」

福祉環境委員会

(10月17日～19日)

「債権回収の行政運営」
(香川県善通寺市)
「少子化・定住化・結婚促進の
対策」
(兵庫県南あわじ市)
「高齢者福祉産業・葉っぱビジ
ネス」
(徳島県上勝町)



▲ 320種を全国へ出荷する葉っぱビジネス「彩」
(JA 東とくしま)

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができま。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

3月定例会の予定

場 所 本庁2階 議場
時 間 午前9時30分～
2月16日(木) 議案上程
20日(月) 一般質問
21日(火) 一般質問
24日(金) 議案質疑
3月15日(木) 委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますので
ご承知ください。

編集後記

輝かしい新年を迎え、本号から編集委員も代わりました。

今年、伊豆市にとって4年に一度の選挙の年です。4月には市長選挙、10月には市議会議員の選挙が予定されています。

新委員一同、市民の皆様に見みやすい『議会だより』となるよう、「和製英語」など意味難解な表現はなるべく避け、議会の内容を正確にお伝えできるよう取り組んでまいります。

委員長 梅原 泰嗣



議会報編集委員6名です
よろしくお願ひします